

# 平成31年度 学校経営の方針

校訓 自主 創造 友愛 ～文武両道～

学校教育目標 自ら学ぶ、心豊かなたくましい人間の育成

めざす子ども像

○自分の考えをもち、生き生きと表現し合う子ども <と>友達と意見交流  
 ○明るく節度ある言動で、互いに励まし合う子ども <き>規律正しく生活  
 ○自分の心身の様子を理解し、正しい生活習慣を身に付ける子ども <わ>私自身で身を守る

本年度教育活動の重点			
学 習	1 自分の考えをもち、それを広げようとする態度を育てる ・学び合いの場や発問の工夫 ・相手の考えと自分の考えを関連付けて話す力の育成 ・学習スキルの効果的な活用	健 康 安 全	1 健康的な生活習慣を育てる ・健康診断を基にした、生活習慣の改善とその継続 ・面談やチェックカードを活用した支援
	2 どこにおいても明確に話せる力を育てる ・「聞いて考えたことを話す」集会活動の工夫 ・場面にあった声量や態度で発言できる力の育成		2 あらゆる危険から身を守る心構えと危険を回避する能力を育てる ・交通事故、自然災害等の身の回りにおける危険の理解 ・危険を察知する力、回避する力の育成
生 活	1 基本的なコミュニケーションの力を育てる ・相手を意識した元気なあいさつの育成 ・時と場を考えた節度ある態度の育成 ・地域の人への感謝の気持ちの醸成	閉 校 に 向 け て	1 地域協働行事や、地域支援活動を通して常盤のよさに誇りをもたせる ・地域の歴史、自然、文化について語れる力の育成 ・地域の方々の願いを理解し、つながりを深める心情の醸成
	2 お互いを理解し認め合う心を育てる ・よりよい学校生活を自ら考え、話し合い、実践しようとする態度の育成 ・自分の考え方を広げるための校外での交流活動や体験活動の推進		2 新たなところで自己実現を図ることのできるたくましさを育てる ・積極的につながりをつくろうとする態度とコミュニケーション能力の育成 ・困難を乗り越えようとする気持ちの育成

支える教師

○子どもに求めることは自らも実践する。  
 ○目指すべきゴールをもって、子どもとともに学び続ける。  
 ○子どもの声を心で聴き、子どもを多面的に理解する。

1 校 訓 自主 創造 友愛 ～文武両道～

- 2 学校教育目標 自ら学ぶ、心豊かなたくましい人間の育成
- <と>友達と意見交流
  - <き>規律正しく生活
  - <わ>私自身で身を守る

3 目指す子ども像

- 自分の考えをもち、生き生きと表現し合う子ども（学習） <と>友達と意見交流
- ・いつでも、どこにおいても、はっきりと自分の考えや思いを話すことができる。
  - ・「笑顔・反応・うなずき」を大事に意見交流することができる。
  - ・お互いによりよい考えを求めて話し合うことができる。
- 明るく節度ある言動で、お互いに励まし合う子ども（生活） <き>規律正しく生活
- ・いつでも、どこでも、誰に対しても元気にあいさつができる。
  - ・時と場をわきまえ、相手を意識した言動をとることができる。
  - ・お互いのよさを認め、共に成長しようとする心をもつことができる。
- 自分の心身の様子を理解し、正しい生活習慣を身に付ける子ども（健康安全）
- <わ>私自身で身を守る
  - ・自分の健康上の課題を把握し、改善のための習慣を身に付ける。
  - ・家庭学習も含めた、家庭での適切な生活習慣を身に付ける。
  - ・自然災害や事故等の怖さや防止策を理解し、危険を回避できる力を身に付ける。

4 本年度教育活動の重点

(1) 学習指導

- ① 自分の考えをもち、それを広げようとする態度を育てる
- ・学び合う場の形態や教師の発問等を工夫し、深まりのある話合いをコーディネートする。
  - ・相手の伝えたいことを考えながら聞き、自分の考えを関連付けて話す指導を図る。
  - ・必要な「学習スキル」を身に付けさせ、効果的な活用を図る。
- ② どこにおいても明確に話せる力を育てる
- ・「聞いて考えたことを話す」集会活動を進める。
  - ・それぞれの場面でどのような声量や態度で話せばいいのかを理解させ、堂々と発言できるように取り組ませる。

(2) 生活指導

- ① 基本的なコミュニケーションの力を育てる
- ・友達、先輩、大人など、相手によってどのようなあいさつが必要なのかを理解させ、元気なあいさつを実践させる。
  - ・様々な場面でどのような言動が求められるのかを体験を通して理解させ、実践につなげる。
  - ・常盤地域内外の人との交流活動を通して、積極的にコミュニケーションを取ろうとする意欲を育てる。

## ② お互いを理解し認め合う心を育てる

- ・お互いが気持ちよく学校生活を送るために何が必要なのかを考え、話し合い、実践できるようにする。
- ・交流や体験活動で、自分の視野を広げられるよう事前事後指導を工夫する。

## (3) 健康安全指導

### ① 健康的な生活習慣を育てる

- ・健康診断結果や普段の生活から自分の健康上の課題を理解させ、改善の生活習慣を継続させる。
- ・自分の課題や改善策を理解させるために、養護教諭や担任との面談を進める。

### ② あらゆる危険から身を守る心構えと危険を回避する能力を育てる

- ・交通事故、薬物、自然災害、ネットトラブルなど、身の回りにある危険を理解させる。
- ・危険を察知する力、危険を回避する力などを身に付けさせる。

## (4) 閉校に向けて

### ① 地域協働行事や、地域支援活動を通して常盤のよさに誇りをもたせる

- ・これまでの学びから、地域の歴史、自然、文化について、よさを整理し再認識する。
- ・地域がどのような願いで学校を支援しているのかを理解させ、地域とのつながりを深める。

### ② 新たなところで自己実現を図ることのできるたくましさ育てる

- ・誰とでもつながろうとする積極的な気持ちをもたせ、必要なスキルを身に付けさせコミュニケーション能力を育てる。
- ・困難な場面に直面したときに、どのような考え方をし、どう行動すればよいのかを理解させる。

## 5 子どもを支える教師

### (1) 子どもに求めることは自らも実践する。

- ・あいさつの励行
- ・時と場に応じた容姿や言動
- ・時間前行動

### (2) 目指すべきゴールをもって、子どもとともに学び続ける。

- ・今年度の教科指導の自己目標をもち、毎日の授業実践に努める。
- ・日々の授業の振り返りを通して、授業改善に努める。

### (3) 子どもの声を心で聴き、子どもを多面的に理解する。

- ・子どもの発達段階や個々の状態を理解して指導にあたる。
- ・子どもが意欲的に自ら改善しようとする気持ちをもてる指導に努める。